



新シリーズ：ユタカナ村のユカイ仲間 第3回「共に生きる」

◆2014年は「介護現場の舞台裏」というシリーズで皆様へ毎月お伝えさせていただきました。2015年8月からは、「ユタカナムラのゆかいな仲間」という題名により、ゆたかなビレッジでの人々の「関わり」をテーマにお伝えして参ります。どうぞよろしくお願いいたします。◆



4年前、体調を崩してしばらく仕事を休むことになった。それまでの2年半、あまり休むという意識がなく、休まない方が調子いいと考えていた。そしてある日倒れた。予兆は多少あった。手当を始めていたが、間に合わなかった。職員、関係者の皆さんには心配とご迷惑をたつぷりとかけてしまった。大きな借りができた。3週間目に、ようやく歩けることができた。まだ身体は以前の状態ではないが、頑張ればなんとか歩けるまで回復した。仕事復帰を目指して、歩いて近所の園芸センターへ顔を出した。様々な植物が目を楽しませてくれる。その日は併設する「鳥の専門店」へ立ち寄った。セキセイインコ、オカメインコ、アヒル、オウム、様々な鳥類を扱っているお店である。店主もユニークで飼い主を見て「鳥をお渡しする。」方針を話してくださいました。「私も飼えるでしょうか？」と尋ねた。「大丈夫でしょうね。笑」黄色のインコとさつきから目が合っていた。その日から「ピーコ：オス」1羽がゆたかなビレッジへ加わることになる。ピーコはヒナから育てたので、人に慣れ誰にでも関わる事ができる。コミュニケーション能力抜群だ。鳥は体温が高く、手に乗せると温かい感触が伝わる。鳥には匂いもある、温もりと合わさると、陽だまりの匂いという表現がピッタリだと考えている。4年経過して、鳥は3羽、犬が1匹増えた。時間の経過と共に、鳥の特性、犬の特性を知ることでも人にも特性があることを知った。1羽1羽、1匹1匹、1人1人の特性を知る、また受け入れることで、互いに成長できると考えることができるようになった。共に生きるとは「相手を知ることから始まるのだろう。ゆたかなビレッジに関わる人、動物、生物について、いつもよく知ることから始めようと心掛けている。「共に生きる」ために

ゆたかなビレッジ各事業所のお話ご紹介

「小規模多機能型居宅介護ゆたかなビレッジ 横浜」



kaori: ひらかわ いとをかし より (ゆたかなビレッジHP)

”暑さ寒さも彼岸まで”と言いますが、既にすっかり涼しくなりましたね。
…白い彼岸花〜〜！！
調べたら、「よくある」と「珍しい」という意見が半々のようです。
私は初めて見ました！

「小規模多機能型居宅介護ゆたかなビレッジ ポートサイド」



yoshi: ポートサイドよりより (ゆたかなビレッジHP)
こんにちわyoshiです。

本日上げました写真は、「地域見守りたい(隊)」のバッジです。
これは幸ヶ谷地区を見守り、異変を見つけたら民生委員さんや警察に報告する活動を行う人がつける名誉のバッジです(笑)
これからも、このバッジをつけて、地域の人々の為の活動も積極的に行っていきます。



株式会社ゆたかなビレッジ事務局編集
横浜市神奈川区松本町2-19-12山田ビル1F
Tel: 594-6222 FAX: 594-6171
Email: voyage4@yutakanamura.com